

2024年度  
一橋大学国際・公共政策大学院  
専門職学位課程  
春季社会人特別選考 第2次試験(小論文)問題  
〔公共法政プログラム〕

受験番号 \_\_\_\_\_

日 時 2024年1月24日(水)  
試験時間 10時00分～11時30分 (90分)

注意事項

- (1) 問題冊子、解答用紙及び下書用紙には、氏名は書かないでください。
- (2) 問題冊子、解答用紙及び下書用紙は、試験室から持ち出さないでください。
- (3) 受験票は机の上においてください。
- (4) 受験票と筆記用具、時計以外のものは机の上に出さないでください。
- (5) 携帯電話は電源を切り、かばんの中にしまってください。
- (6) 時計等についているアラーム機能、計算機能、翻訳機能、その他時計以外の機能をOFFにしてください。
- (7) 試験中に体調不良または手洗所に行く等の理由で試験室から一時退室しようとする場合は、監督員に申し出てください。
- (8) 不正行為を行った者または監督員の指示に従わなかった者は、失格とします。





## 問題

次の資料は、2050年カーボンニュートラル目標に関する資料である。これらを参考に、日本として同目標を達成する必要性を検討した上で、カーボンニュートラルに関連して国又は地方公共団体が講じるべき施策を具体的に論じなさい。

(注) 資料における用語の意義は、下記のとおりである。

- NDC 目標…Nationally Determined Contribution (国が決定する貢献)。パリ協定及び2015年のCOP21決定において策定が求められた、温室効果ガスの削減目標。
- GHG…Greenhouse Gas (温室効果ガス)
- FCV…Fuel Cell Vehicle (燃料電池自動車)
- CCUS…Carbon dioxide Capture, Utilization or Storage (二酸化炭素の回収・有効利用・貯留)
- DACCS…Direct Air Capture with Carbon Storage (大気中の二酸化炭素の直接回収・貯留)

## 資料 1

### 主要各国のカーボンニュートラル目標

	NDC目標 (2030年目標)		(参考) 2013年比の 2030年目標の水準	カーボンニュートラル目標 (ネットゼロ達成時期)
	削減率	基準年		
英国	68%以上	1990年	54.6%減	2050年
ブラジル	50%	2005年	48.7%減	2050年
日本	46%	2013年	46.0%減	2050年
米国	50~52%	2005年	45.6%減	2050年
EU	55%	1990年	41.6%減	2050年
韓国	40%	2018年	23.7%減	2050年
中国	65%	2005年	14.1%増	2060年
インド	45%	2005年	99.2%増	2070年

(注1)日本の基準年は2013「年度」、目標年は2030「年度」(カーボンニュートラル目標は2050「年」)

(注2)中国のNDC目標(65%)はGDP当たりのCO<sub>2</sub>排出量の削減率

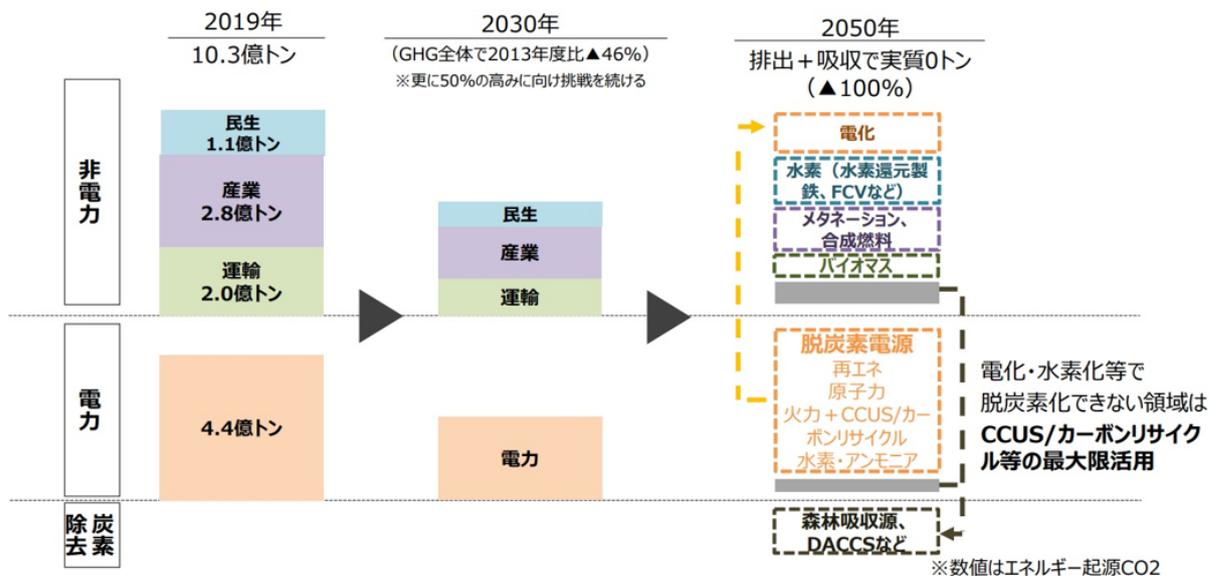
(注3)インドのNDC目標(45%)はGDP当たりの温室効果ガス排出量の削減率

資料：RITE分析結果等を基に経済産業省作成

経済産業省 資源エネルギー庁ウェブサイト  
([https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2023/pdf/whitepaper2023\\_all.pdf](https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2023/pdf/whitepaper2023_all.pdf)) より抜粋

## 資料 2

### カーボンニュートラルへの転換イメージ

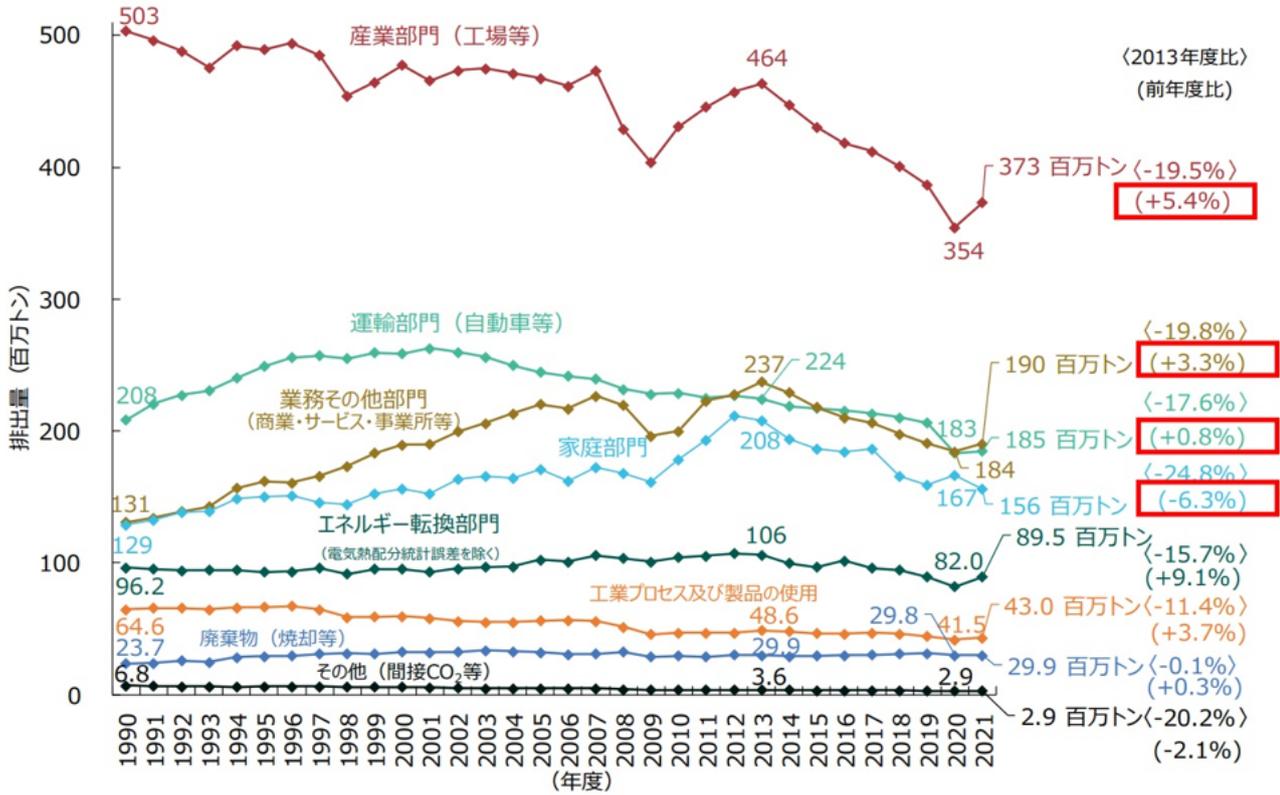


経済産業省ウェブサイト  
([https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shigen\\_nenryo/pdf/033\\_03\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shigen_nenryo/pdf/033_03_00.pdf)) より抜粋

資料 3

部門別のCO<sub>2</sub>排出量の推移（電気・熱配分後排出量（※））

※ 発電・熱発生に伴う排出量を、電力・熱の消費量に応じて、消費者側の各部門に配分した排出量



環境省ウェブサイト（<https://www.env.go.jp/content/000128749.pdf>）より抜粋・加工



